

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【国際公開番号】WO2019/239333

【公表番号】特表2021-526496(P2021-526496A)

【公表日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【出願番号】特願2020-542317(P2020-542317)

【国際特許分類】

C 0 1 B 3 9 / 4 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 1 J 2 9 / 7 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 1 B 3 9 / 4 8

B 0 1 J 2 9 / 7 4                    Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月16日(2022.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

\* M R E 骨格型のモレキュラーシーブを合成する方法であって、

( a ) 以下を含む反応混合物を提供する工程：

( 1 ) F A U 骨格型のゼオライト；

( 2 ) 第1族又は第2族金属( M )の供給源；

( 3 ) 水酸化物イオンの供給源；

( 4 ) ヘキサメトニウムカチオンを含む構造規定剤( Q )；

30

( 5 ) 水；と

( b ) F A U 骨格型のゼオライトを\* M R E 骨格型のモレキュラーシーブに転換するのに十分な結晶化条件に、反応混合物を供する工程と、  
を含み、

前記反応混合物が、モル比に関して、以下の組成：

【表1】

SiO <sub>2</sub> /Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	60 to 80
M/SiO <sub>2</sub>	0.05 to 0.20
Q/SiO <sub>2</sub>	0.01 to 0.10
OH/SiO <sub>2</sub>	0.12 to 0.20
H <sub>2</sub> O/SiO <sub>2</sub>	15 to 40.

40

を有する、前記方法。

【請求項2】

F A U 骨格型のゼオライトがYゼオライトである、請求項1に記載の方法。

50

## 【請求項 3】

第 1 族又は第 2 族金属 (M) がカリウムを含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 4】

結晶化条件が 125 ~ 200 の温度を含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 5】

$\text{SiO}_2 / \text{Al}_2\text{O}_3$  のモル比が 5.0 から 6.5 の範囲 であり、合成されたままの形態であり、細孔中にヘキサメトニウムカチオンを含む、\*MRE 骨格型のモレキュラーシーブ。

## 【請求項 6】

パラフィン含有供給原料を、脱ろう条件で、請求項 5 に記載の活性形態のモレキュラーシーブを含む触媒と接触させる工程を含む、パラフィン含有供給原料を脱ろうする方法。

10

20

30

40

50